

**MagNA Pure 96 External Lysis Buffer**版番号  
1.1改訂日:  
2019/04/27前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16**1. 化学品及び会社情報**

製品名 : MagNA Pure 96 External Lysis Buffer

製品番号 : 06374913001

**供給者情報**

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先 : カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152**推奨用途及び使用上の制限**

使用上の制限 : 専門ユーザー向け。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

**2. 危険有害性の要約****GHS 分類**

急性毒性 (経口) : 区分 4

急性毒性 (吸入) : 区分 4

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分 1

眼に対する重篤な損傷性又は  
眼刺激性 : 区分 1

水生環境有害性 (急性) : 区分 3

水生環境有害性 (長期間) : 区分 3

**GHS ラベル要素**

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

## MagNA Pure 96 External Lysis Buffer

版番号  
1.1改訂日:  
2019/04/27前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16

危険有害性情報 : H302 + H332 飲み込んだり, 吸入すると有害。  
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

: **安全対策:**  
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。  
P270 この製品を使用するときに, 飲食又は喫煙をしないこと。  
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
P273 環境への放出を避けること。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

**応急措置:**  
P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。  
P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
P304 + P340 + P310 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。  
P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。  
P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

**保管:**  
P405 施錠して保管すること。

**廃棄:**  
P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

## MagNA Pure 96 External Lysis Buffer

版番号  
1.1

改訂日:  
2019/04/27

前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16

## 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
グアニジンチオシアナート	593-84-0	>= 40.0 - < 50.0	
ポリ (オキシエチレン) = ( 1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル) フェニル=エーテル	9002-93-1	20.0	(7)-172

## 4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。  
医師に相談する。  
この安全データシートを担当医に見せる。  
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚腐食による傷は直ちに治療処置を行ってください。時間が経つと治癒が遅れて回復が難しくなります。  
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。  
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 少量が目にはねて入った場合、取り返しの付かない組織破壊と失明を引き起こす可能性がある。  
眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。  
病院に運ぶ間にも、眼を洗浄し続けてください。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
洗浄中は眼を大きく開ける。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。  
気道を確保する。  
無理に吐かせないこと。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
直ちに被災者を病院に連れて行く。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 飲み込んだり、吸入すると有害。  
重篤な眼の損傷。  
重度の火傷を起こす。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

**MagNA Pure 96 External Lysis Buffer**版番号  
1.1改訂日:  
2019/04/27前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16

---

**5. 火災時の措置**

- 消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 火災の際、次のような有害分解が起こる可能性がある:  
炭素酸化物  
窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)  
硫黄酸化物  
シアン化水素 (青酸)
- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。  
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

---

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。  
項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。  
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の吸収材 (例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず) で吸収させる。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

---

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 蒸気/粉塵を吸い込まない。  
皮膚や眼への接触を避けること。  
個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。  
リークまたはこぼれた物質の拡散を防ぐため、適切な液体保持のシステムを用意する。

**MagNA Pure 96 External Lysis Buffer**版番号  
1.1改訂日:  
2019/04/27前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16

- 接触回避 : 強酸  
強酸化剤  
シアン化物  
次亜塩素酸ナトリウム
- 衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。  
使用中は禁煙。  
休憩前や終業時には手を洗う。
- 保管**
- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。  
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためま  
っすぐ立てておく。  
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければ  
ならない。
- 保管安定性に関する詳しい情 報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

---

**8. ばく露防止及び保護措置****作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : データなし

**保護具**手の保護具  
備考

: 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具

: 純水入りの眼洗浄ボトル  
密着性の高い安全ゴーグル  
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。

皮膚及び身体の保護具

: 不浸透性衣服  
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

---

**9. 物理的及び化学的性質**

## MagNA Pure 96 External Lysis Buffer

版番号  
1.1改訂日:  
2019/04/27前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16

外観	: 液体
色	: 無色
臭い	: なし
臭いのしきい(閾)値	: データなし
pH	: 6.0 - 7.0
融点/ 範囲	: データなし
沸点/沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
蒸発速度	: データなし
燃焼性 (固体、気体)	: この製品は GHS 分類の可燃性ではない。
可燃性 (液体)	: 燃焼を持続しない。
自己発火	: データなし
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	: データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度	: データなし
比重	: データなし
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: 備考: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: 有害な分解生成物が火があるとき生成される。
粘度	
粘度(粘性率)	: データなし
動粘度(動粘性率)	: データなし
酸化特性	: 本製品は酸化性物質としては分類されない。

## MagNA Pure 96 External Lysis Buffer

版番号  
1.1改訂日:  
2019/04/27前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16

## 10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
- 化学的安定性 : 通常の状態では安定。
- 危険有害反応可能性 : 酸と接触すると、猛毒ガスを発生。  
次の物質に触れると有毒ガスが放出されることある:  
次亜塩素酸ナトリウム  
酸類  
強酸化剤  
指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
- 避けるべき条件 : 光線への暴露。  
湿気への暴露。  
熱。
- 混触危険物質 : 強酸  
強酸化剤  
シアン化物  
次亜塩素酸ナトリウム
- 危険有害な分解生成物 : 熱分解により、刺激性のガスと蒸気が発生することがある。  
  
火災の際、次のような有害分解が起こる可能性がある:  
炭素酸化物  
窒素酸化物 (NOx)  
硫黄酸化物  
シアン化水素 (青酸)

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

飲み込んだり、吸入すると有害。

## 製品:

- 急性毒性 (経口) : 急性毒性推定値: 834.98 mg/kg  
方法: 計算による方法
- 急性毒性 (吸入) : 急性毒性推定値: 3.17 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: ダスト/噴霧  
方法: 計算による方法
- 急性毒性 (経皮) : 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg  
方法: 計算による方法

## MagNA Pure 96 External Lysis Buffer

版番号  
1.1

改訂日:  
2019/04/27

前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16

**成分:****グアニジンチオシアナート:**

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): 593 mg/kg  
症状: 嘔吐

急性毒性（吸入） : 急性毒性推定値: 1.5 mg/l  
試験環境: ダスト/噴霧  
方法: 専門家の判断

急性毒性（経皮） : 急性毒性推定値: 1,100 mg/kg  
方法: 専門家の判断

**ポリ（オキシエチレン） = （1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル）フェニル=エーテル:**

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): 1,900 - 5,000 mg/kg

急性毒性推定値: 500 mg/kg  
方法: 専門家の判断

急性毒性（経皮） : LD50 経皮 (ウサギ): > 3,000 mg/kg

**皮膚腐食性及び皮膚刺激性**

重度の火傷を起こす。

**製品:**

備考 : 組織を極度に腐食し破壊する。

**成分:****グアニジンチオシアナート:**

結果 : 火傷を起します。

**眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性**

重篤な眼の損傷。

**製品:**

備考 : 眼に永久的な損傷が起こることがある。

**成分:****ポリ（オキシエチレン） = （1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル）フェニル=エーテル:**

結果 : 眼に重傷のおそれ。

備考 : 眼に永久的な損傷が起こることがある。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。



## MagNA Pure 96 External Lysis Buffer

版番号  
1.1改訂日:  
2019/04/27前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16**呼吸器感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**生殖細胞変異原性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**発がん性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:****グアニジンチオシアナート:**

備考 : この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性があり、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

**生殖毒性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**特定標的臓器毒性, 単回ばく露**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**特定標的臓器毒性, 反復ばく露**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**吸引性呼吸器有害性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

---

**12. 環境影響情報****生態毒性****製品:****環境毒性アセスメント**

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

**成分:****グアニジンチオシアナート:**魚毒性 : LC50 (Poecilia reticulata (グッピー)): 89.1 mg/l  
曝露時間: 96 h最大無影響濃度 (Poecilia reticulata (グッピー)): 25 mg/l  
曝露時間: 96 hミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia (ミジンコ属)): 42.4 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h

## MagNA Pure 96 External Lysis Buffer

版番号  
1.1

改訂日:  
2019/04/27

前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16

最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 6.25 mg/l  
曝露時間: 48 h

**環境毒性アセスメント**

慢性水生毒性 : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

ポリ (オキシエチレン) = (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル) フェニル=エーテル:

魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 4 - 8.9 mg/l  
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 18 - 26 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h

**環境毒性アセスメント**

慢性水生毒性 : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

**残留性・分解性****成分:**

ポリ (オキシエチレン) = (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル) フェニル=エーテル:

生分解性 : 生分解: > 60 %  
曝露時間: 28 d

方法: OECD テスト ガイドライン 301B

備考: 生物分解性試験結果によれば本製品は容易に生体内で分解されない。

**生体蓄積性****成分:****グアニジンチオシアナート:**

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: -1.38

ポリ (オキシエチレン) = (1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル) フェニル=エーテル:

生体蓄積性 : 備考: 生物蓄積は予期されない (log Pow <= 4)。

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし

**MagNA Pure 96 External Lysis Buffer**版番号  
1.1改訂日:  
2019/04/27前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16**土壤中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響****製品:**

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。  
長期継続的影響によって水生生物に有害。

---

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。  
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。  
認可された廃棄物処理業者へ委託する。  
現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする  
製品入り容器と同様に処分する。  
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。  
空の容器を再使用しない。

---

**14. 輸送上の注意****国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

危険物として規制されていない

**航空輸送 (IATA-DGR)**

危険物として規制されていない

**海上輸送 (IMDG-Code)**

危険物として規制されていない

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**

非該当

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**MagNA Pure 96 External Lysis Buffer**版番号  
1.1改訂日:  
2019/04/27前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16

---

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

非該当

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

非該当

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法****第1種指定化学物質**

## MagNA Pure 96 External Lysis Buffer

版番号  
1.1

改訂日:  
2019/04/27

前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16

化学名	番号	含有量 (%)
ポリ(オキシエチレン)＝オクチルフェニルエーテル	408	20

**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料

非該当

特定麻薬向精神薬原料

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：**

DSL : 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。

AICS : インベントリーに記載されているか、従っている

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに記載されているか、従っている

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに記載されているか、従っている

IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

TCSI : インベントリーに記載されているか、従っている

TSCA : TSCA インベントリーに記載されているすべての物質

## MagNA Pure 96 External Lysis Buffer

版番号  
1.1改訂日:  
2019/04/27前回改訂日: 2017/06/16  
初回作成日: 2017/06/16

## 16. その他の情報

その他の情報 :

日付フォーマット : 年/月/日

## その他の略語の全文

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性 (物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 1805